

2023年度夏季企画展 2023年6月6日（火）～7月29日（土）開催
大谷大学博物館開館20周年記念

かも
賀茂の歴史と信仰

【内覧会のご案内】 2023年6月5日（月） 10:30～11:30

大谷大学(所在：京都市北区 学長：一楽 真)は、2023年6月6日（火）～7月29日（土）の期間、大谷大学博物館にて開館20周年を記念した2023年度夏季企画展「賀茂の歴史と信仰」を開催します。

大谷大学がある京都市北区小山の地は、かつて上賀茂神社（賀茂別雷神社）の膝下社領である賀茂六郷の一つを形成する小山郷という地域でした。

上賀茂神社は古代の氏族・賀茂県主一族の祖である賀茂建角身命が、神山に降臨した賀茂別雷神を奉斎したことにはじまります。以後、代々賀茂県主一族が神職として信仰を守り、桓武天皇による平安遷都がなされてからは、京都を鎮護する神として、国家の厚い崇敬を受けてきました。

上賀茂神社の祭礼である賀茂祭は葵祭ともよばれ、「祭り」とだけいえば賀茂祭を意味するというほど有名な祭儀です。また、賀茂祭に先立っておこなわれる勇壮な賀茂競馬は、寛治7年（1093）、宮中行事から上賀茂神社にうつされました。本年は、それから930年の節目の年にあたります。

本展では、江戸時代後期の画家・横山華山が描いた賀茂競馬図屏風や、上賀茂神社関係の古文書などから、上賀茂神社の歴史と信仰の一端をご紹介します。

※内覧会出席ご希望の場合、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。【期日：6/2（金）】



▲賀茂競馬図屏風（横山華山）

大谷大学博物館 2023年度夏季企画展 ホームページ

<https://www.otani.ac.jp/events/2023/sfpjr700001040d.html>

■見どころ紹介！

近年、注目を集めている江戸時代後期の画家・横山華山（1781～1837）が描いた「賀茂競馬図屏風」をぜひご覧ください。社頭に大勢の見物客が押し寄せ、競馬を見ようとする様子や、祭礼の熱気が伝わってきます。また社家・岡本保望の書いた古文書には信長・秀吉・家康などのビッグネームの名前も！

＜報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先＞

大谷大学入学センター(広報)後藤・野路 TEL：075-411-8114/FAX：075-411-8160

E-mail：nyushi-c@sec.otani.ac.jp【ご出席連絡先】

＜一般の皆さまからのお問合せ先＞

大谷大学博物館 TEL：075-411-8483/https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

主要展示作品一例



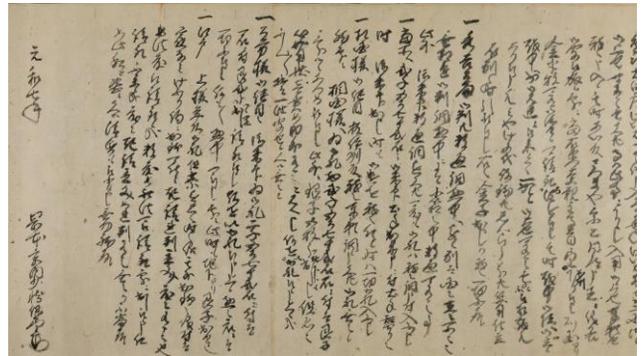
▲賀茂御神領境内六郷図



▲_続日本紀 巻第一



▲西賀茂村山堺絵図)



▲岡本保望興隆覚 (部分)

展覧会出陳作品リスト ※一部抜粋

No.	作品名	年代	頁数	材質・技法	所蔵
1	二十一社記	江戸時代 (19世紀)	1冊	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
3	続日本紀 巻第一	明暦3年 (1657)	1冊 (20冊のうち)	紙本木版	大谷大学図書館蔵
5	日本逸史 巻第二	江戸時代 (18世紀)	1冊 (10冊のうち)	紙本木版	大谷大学図書館蔵
6	帝王編年記 巻第十二	江戸時代 (18世紀)	1冊 (7冊のうち)	紙本木版	大谷大学図書館蔵
9	社家系図	江戸時代 (17世紀)	1巻	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
10	賀茂御神領境内六郷図	文政元年 (1818)	1舗	紙本著色	大谷大学博物館蔵
11	官宣旨写	江戸時代 (18世紀)	1通	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
13	賀茂御綸旨御朱印并券状之写	江戸時代 (18世紀)	1冊	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
14	豊臣秀吉朱印状写	江戸時代 (18世紀)	1通	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
15	徳川家康朱印状写	江戸時代 (18世紀)	1通	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
26	延慶三年神事并後伏見院御幸始次第写	江戸時代 (17世紀)	1巻	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
27	氏人兼役河上郷司年中行事	元禄3年 (1690)	1冊	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
33	賀茂競馬図屏風	江戸時代 (19世紀)	6曲1隻	紙本著色	大谷大学博物館蔵
34	葵御神事細記	江戸時代 (19世紀)	1冊	紙本木版	大谷大学博物館蔵
45	岡本保望興隆覚	元和7年 (1621)	1巻	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
51	竹内明久申合条々覚	天文18年 (1549)	1通	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
52	祠官氏人置文・氏人中置文写	江戸時代 (17世紀)	1通	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
62	貴布祢谷住人等口上書	享保4年 (1719)	1通	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
63	市原村庄屋連署口上覚	江戸時代 (18世紀)	1通	紙本墨書	大谷大学博物館蔵
64	市原村与西賀茂山論裁許絵図	寛文10年 (1670)	1舗	紙本著色	大谷大学博物館蔵
65	西賀茂村山堺絵図	江戸時代 (18世紀)	1舗	紙本著色	大谷大学博物館蔵
66	上賀茂墓地周辺図	江戸時代 (18世紀)	1舗	紙本著色	大谷大学博物館蔵

「大谷大学博物館開館20周年記念 2023年度夏季企画展」開催概要

- 展示会名：賀茂の歴史と信仰
- 会 期：2023年6月6日（火）～7月29日（土）
- 開館時間：午前10時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）
- 休 館 日：日曜日・月曜日 ※7/17（月・祝）は開館
- 観 覧 料：無料
- 場 所：大谷大学博物館（京都市北区小山上総町 大谷大学 響流館1F）
※京都市営地下鉄烏丸線国際会館行「北大路」駅下車、6番出口すぐ
※市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路下車」
- 主催：大谷大学博物館
- 後援：エフエム京都
- 大谷大学博物館2023年度夏季企画展：

<https://www.otani.ac.jp/events/2023/sfpjr7000001040d.html>



※内覧会出席ご希望の場合、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。【期日：6/2（金）】

大谷大学博物館について

本学博物館は、真宗学・仏教学・歴史学・文学など世界的に貴重な典籍、考古遺物、民俗資料など約12,000点を所蔵。年4回の企画展と年1回の特別展を地域に広く公開し、文化財を間近でみることができる博物館です。

博物館の設置構想は、本学図書館が収蔵していた貴重資料および考古遺物や民俗資料などの文物を含む多様な資料の適切な保管と調査研究、1987年に開設された博物館学課程の充実化、生涯学習など社会的要請への対応などを目的に策定されました。



大谷大学について

大谷大学は、1665（寛文5）年の江戸時代、京都・東六条に創設された東本願寺の学寮をその前身としています。その後、いくたびかの変遷を経て、1901（明治34）年、近代的な大学として東京・巣鴨の地に開学。1913（大正2）年、現在の地に移転開設しました。

親鸞の仏教精神に基づき、“人材”ではなく“人物”の育成を目標とする学び「人間学」を教育・研究の根幹とし、広く一般社会へ開かれた大学として発展を続けています。2021（令和3）年には、近代化120周年を迎えました。



<報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先>

大谷大学 入学センター（広報）後藤・野路 TEL：075-411-8114/FAX：075-411-8160

E-mail：nyushi-c@sec.otani.ac.jp【ご出席連絡先】

<一般の皆さまからのお問合せ先>

大谷大学博物館 TEL：075-411-8483/https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/